



No. 397号
2025年2月11日発行
沼津市手をつなぐ育成会
〒410-0822 沼津市下香貫宮脇323-4
尾藤 正弘 (会長宅)
TEL: 933-3922 FAX: 933-7350
尾藤携帯電話: 090-8543-2341
尾藤E-mail: bito3boy@yahoo.co.jp

沼津市手をつなぐ育成会・会報 2025年2月号

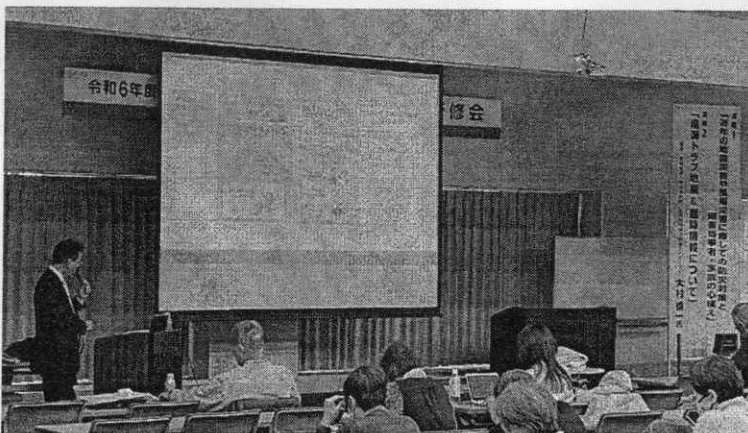


今年は2月2日(日)の節分を経て、2月3日(月)から立春に入りました。立春とは、二十四節気(にじゅうしせつき)において、春の始まりであり、1年の始まりとされる日とのことです。

しかし、2月8日(土)からは今シーズン1番の寒気の影響で「顕著な大雪に関する情報」が各地で発表されました。沼津市は幸いにも直接的な雪の影響はありませんが、広範囲な雪の影響で交通機関が乱れたようです。受験シーズンなので、最新の気象情報を確認の上、移動には充分留意していただきたいと思います。

知的障害者相談員等研修会に参加して (午前の部のみ)

令和7年1月18日(土)、静岡県総合社会福祉会館シズウエルで、静岡産業大学客員教授・総務省地域力創造アドバイザー 大村慎一氏の講演を聴きました。「近年の地震災害や風雨災害に際しての防災対策と障害当事者・家族の心構え」という演題で、行政の今後の課題や、福祉避難所のあり方、行政がどのように災害に備えようとしているのか大筋分かりましたが、自分の身の回りの現状を思い浮かべると、不安が募るばかりです。災害が起こった時、家族の所在はバラバラかもしれない。多くの地域住民も在宅しているとは限らず、自分が安全に避難できず身動きとれない状況におかれているかもしれない。ライフラインに関わる仕事をしている主人はしばらく不在となるだろう。今、町内会の組長をしている我が家が約60世帯の安否確認をするわけだけれど、安否確認の方法はこれから整えていくようです。防災訓練には、ヘルプマークをつけた娘と毎回参加しているものの、ご近所さんの姿はほぼありません。行政につながるまでの自主防災が機能するイメージは全く湧きません。避難場所となる学校の体育館には空調設備はなく、地域住民



が安全に避難生活を送れる十分なスペースも確保されていません。避難先が、自宅・車中泊・遠方の知人宅など多岐にわたるであろう有事の際、他県から行政職員の応援は来るとはいうけれど、安否所在確認一つとっても地域の大混乱は目に見えています。避難行動要支援者名簿は活かされるのか、今のままでは要配慮者どころではないと感じているのは私だけだろうか。防災に関する講演会を聴く度に思うのは、個人の備えは万全にということと、自治会組織の今後が頭をよぎります。今、働き盛りの役員がなんとかやりくりをし、自治会を守ってくれています。新たな役員は全然見つからない状況です。地域の手も大事だけれど、人手がない地域の自主防災について、どう考えていったらよいか知りたいです。みんなの意識を変えるところから始めるしかないのでしょうか？あと一つ強く願うのは、福祉避難所を必要としている家族が、たらい回しに合わず、適切な配慮が受けられる福祉避難所へスムーズに行けるよう整備されることです。

沼津特別支援学校高等部 保護者

就労支援部会



令和7年1月27日、シズウエルにて就労支援部会に参加しました。今回は児童部会との合同開催です。進路を中心とした将来の展望を、まだまだ悩まなければならぬ児童部会の保護者と、学齢期・青年期と進路を選択してきた就労部会の保護者が県全域から集まりました。特別支援教育に変化があり教育も進路希望にも仕組みが

確立されている中で、実際の現場では進路指導をどのように進めるべきかの落とし込みで課題があるのではないか、との話が上がりました。また、進路選択の一つである就労継続支援A型の事業所について、福祉施設でありながら雇用契約を結ぶ形で、最低賃金が上がっている中での運営に苦しみ、報酬改定に苦しみ、施設数が減っている現状も否めないとの話や、障がい者の法定雇用率は2026年には2.7%とどんどん上がっているにも関わらず、働く障がい者の支援をする自立訓練や就労移行支援の事業所は少ないままである問題についての話も出ました。通常の高校や通信制の学校は単位取得を目的に学習を進める事に対し、支援学校はキャリア教育や実習に力を入れている状況に、ボーダーの知的障がいの方や発達障がいの方の選択肢が支援学校ではなくて良かったのか？どうしてここまで学習方針に差があるのか？との疑問の声もありました。究極のところ、「働く事にそこまでこだわらなければいけないのか？」との質問もあり、「働く喜び」を理解しつつも、保護者として自分の

子どもがイキイキと楽しく毎日を生活する事ができる選択をしたいとの強い想いに、今できる事として待っているだけではいけない。言葉にして保護者同士のつながりを作り情報を得ていく事、疑問や困りごとは発信していく事が、保護者としてできる事と再確認し、またそのための育成会であり、現在も将来も不安がありながらも同じ想いの『仲間』がいると確認できた場となり、参加させていただき充実した時間となりました。

事務局 中村 芙美子

児童部会

1月27日(月)、シズウエルにて10時より開催された児童部会に参加いたしました。今回は就労支援部会との合同部会という形で、主に「卒業後の生活のため、在学中に備えておくべきこと」について部会委員相互で情報交換を行いました。

合同部会ということで、参加者も多く、またそれぞれのお子さんの年齢や障がいの状況や家族の事情が異なるため、多岐にわたって広い範囲でのお話ができました。

ですが、総じて『親亡きあと』のために今どのような力をつけさせていけば良いのか、悩みはそこに尽きるのかなと感じました。そもそも就労を目指すべきなのか、楽しい人生を送ることを目指しても良いのではといった意見もあり、生きるということの意味、人生といった壮大なテーマに皆で思いを馳せました。話は尽きず、時間が足りないほどでしたが、「制度が変わることもあるため、まだ先のことと思わずに情報収集を積極的に行うことが大切であり、また声を行政に上げていくことも重要なので、育成会だからこそのこういった機会を活用してほしい」という小出会長のお話で締め括られました。

来年度1回目は行政を交えての意見交換、2回目は今回同様、合同で実施する予定だそうです。小さなお子さんをお持ちの方こそ、こういう場に出てほしいという意見がありました。自分がした苦労はこれからの方にさせたくない、そういった思いで活動を継続されておりますが、私の子どもも高校生にあがり、喉元すぎると言いますか、当時の苦労がだいぶ薄れてしまいました。児童部会に出てみたいという方、参加はできないけれどこういうことを聞いてほしいということがありますら、尾藤会長までお申し出ください。

会計 浅田 美重子

情報提供

(第9回 静岡県児童発達支援・子どもフォーラム)

内 容：5領域を取り入れる個別支援計画・発達支援に焦点を当てた実践形式の学び

日 時：令和7年3月8日(土) 10:00~17:00

会 場：静岡県総合社会福祉会館 シズウエル703

参加費：1,000円(昼食は各自で用意)

抜 粋：①10:20~こども家庭庁行政説明「新ガイドラインから見える、これからの児童発達支援」鈴木久也氏
(こども家庭庁障害児支援課 課長補佐/統括専門官)



② 13:00～各地域・事業所からの実践発表

③ 14:30～講演「こどもまんなか～5領域の視点から考える～これからの発達支援」

申込期限：令和7年2月28日（金）

問合せ：浜松市根洗学園（電話：053-436-9318、担当：松本・池野）

お知らせ

1、「沼津ブラス・フロンティア」第25回定期演奏会

日頃、大変お世話になっております「沼津ブラス・フロンティア」さんから、定期演奏会のご案内をいただきました。

お時間許す方、是非、会場に足を運んでください。

日時：令和7年3月16日（日）、開場13:00～

会場：沼津市民文化センター大ホール

費用：前売券800円、当日券1,000円、
高校生以下500円（小学生未満無料）

販売：すみやグッディ沼津店（電話：055-926-1171）及び会場内



2、本人部会「ふれあい交流会」

日時：令和7年3月16日（日）、12:00～15:00

* 昼食会場は3階で12:00～

* 交流会は4階で13:00～

会場：サンウェルぬまづ3・4階

内容：夢織姫の会「ダンスで楽しもう!」、コールエーコン「ふうせんと音楽」

申込み：事務局（090-8543-2341）又は

FAX（055-933-7350）



3、手をつなぐ育成会定期総会

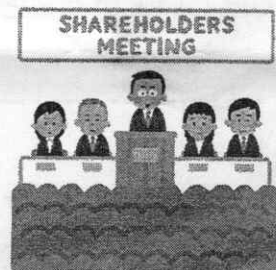
日程：令和7年5月25日（日）

会場：サンウェルぬまづ2階

内容：議事、表彰状・感謝状授与

* 詳細は、4月号の会報と一緒に配布致します。

* 講演会内容は、2月の理事会で決定させていただきます。



理事会	3月11日（火）19:00～	サンウェルぬまづ	3階可動仕切り会議室
会報印刷	3月10日（月）13:00～	〃	3階障がい者活動交流室
事務局会	2月の事務局会はありません		